

令和7年6月24日
独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会

(第4回)の開催について

独立行政法人水資源機構筑後川上流総合管理所では、筑後川水系ダム群連携事業に関して環境調査や保全対策について、総合的な観点から助言を得ることを目的として、学識経験者等からなる「筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会」を設置しています。

令和7年7月1日(火)に第4回委員会を開催しますので、別紙のとおり、お知らせ致します。

配布先： 国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、
西日本新聞社朝倉市局、毎日新聞社福岡本部社会部、
読売新聞筑紫支局、朝日新聞社福岡本部社会部

お問い合わせ先：

筑後川上流総合管理所 総務課長 まつざき 松崎

寺内ダム再生・筑後川水系ダム群連携事業推進室 調査設計課長 あきやま 秋山

電話：0946(25)0113(代表)

0946(52)8050(寺内ダム再生・筑後川水系ダム群連携事業推進室)

Ⅰ. 日時及び場所

(1) 日時：令和7年7月1日（火）14：00～16：30（終了予定）

(2) 場所：久留米ステーションホテル 会議室（地下1階）

（住所 福岡県久留米市中央町2－14）

（電話 0942－36－1122）



2. 予定議事

・環境レポート（素案）について

3. その他

(1) 委員会は、公開の対象を報道機関といたしますが、希少生物保護の観点に関わる内容等については、非公開とします。

(2) ビデオ収録・録音及び写真撮影は、冒頭の事業者挨拶（議題が始まる）までとし、審議中は傍聴取材（着席）となります。

なお、会場の都合上、報道関係者のみへの公開となります。

(3) 審議内容に関する質問は、委員会終了後に受け付けますので、委員会での質問はご遠慮ください。

(4) 取材を希望される方は、6月30日（月）正午までに、別紙-5のとおり、事前にFAXにてお申し込み下さい。

(5) 委員会資料・議事概要は後日、筑後川上流総合管理所ホームページに掲載する予定です。

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会委員名簿

氏 名	所 属	専門分野
いぬい りゅうてい 乾 隆 帝	福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授	魚類
お の ひとし 小野 仁	日本野鳥の会 福岡支部長	鳥類
◎ こ が けんいち 古賀 憲一	佐賀大学 名誉教授	水質 河川工学
しまだ じゅん 嶋田 純	熊本大学 名誉教授	地下水
なかじま じゅん 中島 淳	福岡県保健環境研究所 環境生物課 専門研究員	底生動物
にし の ひろし 西野 宏	熊本大学 名誉教授	陸産貝類
ひろわたり とし や 広 渡 俊哉	九州大学 名誉教授	陸上昆虫類
まなべ とおる 真鍋 徹	北九州市立自然史・歴史博物館 館長	植物
やまね あきひろ 山根 明弘	西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授	哺乳類・両生 類・爬虫類
つかはら たかお 塚原 隆夫	国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所長	行政委員

(敬称略、五十音順。◎：委員長)

筑後川水系ダム群連携事業

事業概要

- 位 置 筑後川水系筑後川
(福岡県朝倉市山田地先) から佐田川 (同市佐田地先)
- 目 的 「筑後川水系における水資源開発基本計画」に基づき、水の安定的な供給を確保することを目的として、筑後川本川から支川佐田川へ導水施設を建設するとともに、両筑平野用水施設(江川ダム)、寺内ダム及び小石原川ダムの有効活用を行うことにより、筑後川の適正な河川流量の保持を図る。
- 諸 元 導水路 約10km
最大導水量 毎秒2.0立方メートル

位置図



筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第４回）

取材申込み連絡表

取材を希望される方は、事前にＦＡＸにてお申し込み下さい。

ＦＡＸ番号：０９４６－２５－０１３３

ＦＡＸに記載して頂く事項：

①報道機関名

②氏名（ふりがな）

※ １つの報道機関で、複数名取材を申し込まれる方は、全ての方のご氏名を記載ください。

③連絡先（電話番号）